

## 日本交流分析学会について

本学会は交流分析に関する研究を促進し、その普及と啓発をはかることを目的としています。入会を希望される方は、別紙の『入会申し込み書』にご記入の上、郵便切手84円分を同封し、下記の日本交流分析学会事務局宛にお申し込み下さい。

会員資格は、下記会則抜粋のように定められています。入会審査委員会において審査が行われ、その結果は翌々月までに事務局より通知申し上げます。入会通知が到着したら同封されている振り込み用紙にて、会費として正会員8000円、一般会員6000円、学生会員3000円をご送金下さい。

なお、入会および申し込み方法等についてご不明な点は、事務局宛にお問い合わせ下さい。また、交流分析学会のホームページもご覧下さい。

日本交流分析学会ホームページ <http://www.js-ta.jp/>

### [ 会則抜粋：会員について ]

第5条：本会の会員は正会員、一般会員、賛助会員、名誉会員(名誉理事長、名誉理事)とする。

- ①本会の会員は交流分析あるいはその関連領域における研究に関心をもつ者であって、資格審査委員会の審査を経て理事長の承認を得、所定の会費を納入したものとする。
- ②正会員の入会審査は、医学、心理学、教育、看護、社会教育、保健衛生などの諸分野の職業に従事し、大学学部以上またはこれと同等の学識を持つと認められる者とする。
- ③一般会員は前項以外の者で、かつ入会審査委員会で審査し、承認を得られたものとする。正会員への移行には細則に定める審査を受けるものとする。
- ④学生会員は、医学、心理学、教育、看護、社会教育、保健衛生などの諸分野の学業を専攻中の大学生を対象とする。大学院生は除外する。一般会員と同様、入会審査委員会で審査し、承認を得られたものとする。正会員への移行には細則に定める審査を受けるものとする。
- ⑤賛助会員は本会の趣旨に賛同する個人、団体、会社及び事業所とし、理事長の承認を得て賛助会費を納入するものとする。
- ⑥名誉会員は本会の発展に多年功労のあった会員（名誉理事長、名誉理事）を理事会が推薦し、評議員会の議を経て承認を得たものとし会費を免除する。
- ⑦正会員は本会の開催する大会及び機関誌において研究発表することができ、総会において発言権、議決権を有する。一般会員、学生会員は正会員と共同で研究発表をすることが出来る。

第9条：会員は、退会届を提出して、任意に退会することができる。

退会を希望する会員は、退会する年度までの会費を納めなければならない。

注：一般会員、学生会員は学術大会での発表演者及び学会誌への筆頭著者となることは出来ません。なお、正会員歴3年以上を経た会員は、学会認定交流分析士の資格申請(要審査)ができます。事務局までお問い合わせください。

(申し込み先)

日本交流分析学会 事務局分室

〒160-0011

東京都新宿区若葉 2-5-16 向井ビル 3F

(株)ヒューマン・リサーチ内

## 日本交流分析学会会員所属分類コード表

●ご自分の主たる所属領域を下記より選択し、入会申込書の所属分類欄にコード記号をお書き下さい。

専門領域	小分類	コード	専門領域	小分類	コード
医師の領域	各科臨床医	DC	福祉の領域	医療ソーシャルワーカー	CC
	産業医	DS		福祉領域のソーシャルワーカー	CW
	歯科医	DD		上記以外	CA
	上記以外	DA	企業・産業の領域	人事関係	KJ
心理の領域	病院心理臨床	PC		衛生管理	KH
	公立相談所心理	PS		経営コンサルタント	KC
	私立相談所・研究所心理	PK		教育研修	KE
	司法・矯正・警察領域の心理	PB	上記以外	KA	
	福祉施設心理	PF	官公庁職員の領域	教育関係	YE
	保健領域の心理	PH		司法・矯正・警察領域	YH
	心理学大学教員	PT		保健・福祉関係	YF
	生徒・学生相談	PE		労働関係	YR
	企業内の心理臨床	PD		上記以外	YA
	開業心理	PP	その他の治療領域	鍼灸マッサージ	QH
上記以外	PA	カイロ・整体		QS	
		上記以外		QA	
看護の領域	看護師	NC	医療関連領域	臨床検査技師	BL
	保健師	NF		薬剤師	BH
	看護教員	NT		栄養士	BN
	上記以外	NA		衛生士	BD
教員の領域	幼・小・中・高校の教員	EJ		病院職員	BS
	大学教員(医学・心理・看護学以外)	EU	上記以外	BA	
	上記以外	EA			
学校等職員の領域	幼・小・中・高校の職員	GJ	宗教の領域	宗教家	S
	大学職員	GU		上記以外	SA
	上記以外	GA	学生		T
リハビリの領域	理学療法士	RP	上記以外の専門領域		A
	作業療法士	RO	所属・専門領域なし		Z
	言語聴覚士	RS			
	上記以外	RA			

# 日本交流分析学会 入会申込書

記入年月日：西暦 年 月 日

この資料は本学会の入会審査に用いるものです。記入漏れのないようご注意ください。

※会員番号は事務局にて記入します

会員							
----	--	--	--	--	--	--	--

フリガナ		性別	生年月日			
氏名		男・女	年	月	日	歳
自宅住所	(〒 - )		TEL ( - - )			
最終学歴 (在学中)	卒業(在学) 大学学部・学科・専攻科目、卒業年月日をお書きください。					
入会 枠 ・ 目的	一般会員または学生会員での入会をご希望の方は、カッコに○印をお付け下さい。 → 一般会員希望 ( )、学生会員希望 ( )					
	※学生会員希望の方は、推薦指導者(正会員)の氏名、会員番号、指導者の捺印が必要です 推薦指導者氏名： 印 会員番号					
	入会目的をお書きください。					
所属先	所属先名及び専門領域・職名・職務内容をお書き下さい。また、職務に関係する資格(国家資格、公益法人発行の資格、学会又はそれに準じる団体発行の資格など)を取得されている場合には資格名・資格取得日・発行団体名などもお書き下さい。					
	現職					
	住所 電話	(〒 - )				
所属分類	主たる所属領域を別表より選び、コード記号をお書き下さい					
学会誌等の 送付先	(○をつけてください) 自宅・勤務先		連絡先Eメール			

以下は、正会員希望の方のみご記入ください。

(氏名： )

①交流分析の実際的な経験（臨床経験・教育経験・講師経験・活用経験、等）について、最近の経験から具体的にお書き下さい（□にチェックを付けてください）。

a. 経験なし b. 経験あり（下記に具体的にお書き下さい）

年 月	どこで	具 体 的 内 容	対 象

②交流分析の研修や教育（交流分析学会の研修会、他学会での研修会、交流分析関係団体での講習会、大学等での講義、市民講座等での講演、個人的勉強会での研修、スーパーバイス、独学）を受けたことについて、具体的にお書き下さい（□にチェックを付けてください）。

a. まったく経験なし b. 経験あり（下記に具体的にお書き下さい）

年 月	研修時間	研 修 内 容	講師名	主催者

③交流分析の学術活動（学会・研究会での発表、著書、投稿論文など）があれば、最近の活動内容をお書き下さい。（年月、タイトル、学会・研究会名又は発表誌名、簡単な発表内容等の順）

--